

## 平成 28 年熊本地震支援状況について（5/17 現在）

### <体制>

◇平成 28 年 4 月 21 日に「熊本地震愛媛県支援本部」を設置した。

### <物的支援>

◇4 月 16 日の本震発生後直ちに、熊本県のニーズを把握し、県が災害対策本部職員用等に備蓄していた、全ての水、食料及び毛布を搬送した。

| 品 目         |         | 数 量     |
|-------------|---------|---------|
| 水(2ℓペットボトル) |         | 4,878 本 |
| 食 料         | 乾 燥 米   | 6,600 食 |
|             | 備 蓄 パ ン | 2,304 箱 |
|             | 乾 パ ン   | 1,224 缶 |
|             | ビスケット   | 1,360 袋 |
| 毛 布         |         | 4,530 枚 |

◇その後、熊本県が、物資受入を中断したため、多くの被害が発生している熊本県中央部の 21 市町村に対し県が直接ニーズ調査をし、要望のあった 33 品目について県内全市町及び企業に協力を呼びかけ、ニーズとマッチングした 25 品目の物資を 4 月 24 日、29 日、30 日に被災地に搬送した。

#### ・提供先（8 市町村）

4/24 : 宇土市、阿蘇市、美里市、大津町、西原村、御船町、嘉島町

4/29 : 大津町、西原村、御船町

4/30 : 八代市

#### ・提供物資（25 品目）

カップ麺、レトルト食品、その他日持ちする食料（缶詰、アルファ米等）、離乳食、粉ミルク(新生児用)、紙コップ、紙皿、割りばし、箱ティッシュ、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ペーパータオル、歯磨きセット、石鹸、アルコール消毒液、からだ拭きシート、ビニール手袋、子供用紙おむつ、大人用紙おむつ、生理用品、ブルーシート、毛布、土のう袋、軍手、布ガムテープ

#### ・提供申出者

県内全 20 市町 (株)伊予鉄高島屋 (株)フジ (株)松山三越 昭和刷子(株) 山陽物産(株)

## <人的支援>

|    | 種別                            | 日付            | 班数       | 人数   | 活動内容  | 担当課          |
|----|-------------------------------|---------------|----------|------|---|--------------|
| 1  | DMAT                          | 4/16～<br>4/24 | 7<br>チーム | 計34名 | 川口病院（熊本県菊池市）及び阿蘇和医療センター（阿蘇市）等において活動                           | 医療対策課        |
| 2  | DPAT                          | 4/22～<br>5/19 | 4班       | 計16名 | 熊本県庁及び熊本県精神保健福祉センター及び市町の避難所等において活動                            | 健康増進課        |
| 3  | 保健師                           | 4/20～<br>5/20 | 5班       | 計19名 | 熊本市内避難所等において活動  | 保健福祉課        |
| 4  | 災害医療コーディネーターサポートチーム           | 4/26～<br>5/4  | -        | 2名   | 阿蘇地域において活動<br>(医師1名及び看護師1名)                                   | 県立病院課        |
| 5  | 緊急消防援助隊                       | 4/16～<br>4/22 | -        | 計50名 | (統合機動部隊)<br>益城町及び西原村において捜索救助活動<br>(航空隊：県消防ヘリ)<br>熊本空港を拠点に活動   | 消防防災安全課      |
| 6  | 警察広域緊急援助隊<br>(警備部隊)<br>(交通部隊) | 4/16～<br>4/20 | -        | 10名  | (警備部隊) 益城町において捜索活動  | 消防防災安全課      |
|    |                               | 4/18～<br>4/25 | -        | 7名   | (交通部隊)<br>・玉名市において交通整理<br>・山鹿警察署管内においてパトロール及び交差点の交通監視 等       |              |
| 7  | 特別自動車警ら隊                      | 4/16～         | -        | 4名   | 熊本県宇城警察署管内において警ら（パトロール）活動及び避難所立寄り                             | 消防防災安全課      |
| 8  | 特別生活安全部隊                      | 4/25～<br>5/15 | -        | 5名   | 熊本南警察署管内の避難所及び公民館において相談受理・防犯指導                                | 消防防災安全課      |
| 9  | 特別機動捜査隊                       | 4/26～         | -        | 計4名  | 熊本県宇城警察署管内及び大津警察署管内において機動警ら（パトロール）活動（2台、4名）                   | 消防防災安全課      |
| 10 | 四国管区機動隊<br>愛媛中隊               | 4/16～<br>4/19 | -        | 35名  | 愛媛県警察広域緊急援助隊と合同で、益城町において捜索活動                                  | 消防防災安全課      |
| 11 | 警察災害派遣隊特別交通部隊                 | 5/13～         | -        | 8名   | 益城町において交通整理   | 消防防災安全課      |
| 11 | 被災建築物応急危険度判定士                 | 4/18～<br>5/1  | 4班       | 計35名 | 益城町、熊本市内において活動  | 建築住宅課        |
| 12 | 被災宅地危険度判定士                    | 4/18～<br>5/31 | 13班      | 計48名 | 益城町、大津町、南阿蘇村において被災宅地危険度判定活動                                   | 都市計画課        |
| 13 | 職員派遣<br>(事務職)<br>(建築職)        | 5/9～<br>6/10  | 5班       | 計15名 | 罹災証明交付事務に従事するための職員派遣（事務職5班15名）                                | 人事課<br>建築住宅課 |
|    |                               | 5/9～<br>5/18  | -        | 1名   | 災害救助法に基づく住宅の応急修理業務に従事するための職員派遣（建築職1名）                         |              |
|    |                               | 5/23～<br>6/3  | 2班       | 計4名  | 被災家屋の認定業務に従事するための職員派遣（事務職1名、建築職1名：2班4名）                       |              |
| 14 | 養護教諭派遣                        | 5/11          | -        | 1名   | 全国知事会からの要請により、熊本県内の公立小・中学校に養護教諭1人を派遣することとした(派遣予定期間：12日から31日)。 | 義務教育課        |

## <その他支援>

|   | 支援項目                 | 日付            | 支援内容   | 担当課            |
|---|----------------------|---------------|--|----------------|
| 1 | 義援金                  | 4/18          | 日本赤十字社、共同募金会が義援金を受け付ける旨を県 HP への掲載などを通じ広く周知している   | 保健福祉課          |
|   |                      | 4/28～<br>6/30 | 「熊本地震愛媛県民義援金」を募集   |                |
| 2 | 職員募金                 | 4/20          | 県職員による義援金の募集開始「ボランティア推進グループ」を中心に、義援金の募集を開始   | 職員厚生室          |
| 3 | 見舞金                  | 5/9           | 愛媛県から熊本県に対し、30万円の見舞金を贈呈  | 保健福祉課          |
|   |                      | 5/9           | 県議会から熊本県に対し、被災者の救援と被災地の復興に役立ててもらうよう、30万円の見舞金を贈呈することとした。<br>また、議会親交会（県議全員で組織する親睦会）からも20万円の見舞金を贈呈することとした。  | 議会事務局<br>総務課   |
| 4 | 避難者の<br>学校受入         | 4/21          | 熊本市立壺川小学校の児童3人を、西条市立壬生川小学校に受入れ（～5/13）  | 義務教育課          |
|   |                      | 4/26          | 熊本市立桜井小学校の児童1人を、愛南町立平城小学校に受入れ（～5/6）  |                |
|   |                      | 4/27          | 熊本大学教育学部附属小学校の児童1人を、松山市立雄剛小学校に受入れ（4/25～5/9）  |                |
| 5 | 避難者受入                | 4/22          | 公立学校共済組合道後宿泊所（にぎたつ会館）において、宿泊料を無料として、被災者を受け入れることとした。  | 教職員<br>厚生室     |
| 6 | 善意の住宅<br>「紹介制度」      | 4/21～         | 県民や企業等の善意により貸与される住宅について、被災者に紹介する。  | 県民生活課          |
| 7 | 災害ボランティアに関する<br>情報発信 | -             | 愛媛ボランティアネットのHP及びメールマガジン、えひめ地域社会未来づくり協働会議のフェイスブックにより情報の提供を行っている   | 男女参画・<br>県民協働課 |
| 8 | 避難者総合相談窓口の設置         | 4/19          | 熊本県及び大分県の避難者からの総合的な相談窓口として「熊本大分地震避難者相談窓口」を保健福祉課に設置するとともに、公営住宅等への入居を希望する被災者等に対して住宅を提供する。<br>【県としての提供可能戸数】<br>81戸（県営住宅7戸、職員住宅42戸、教職員住宅32戸）<br>【市町として提供可能戸数】<br>115戸（市町営住宅115戸） | 保健福祉課          |
| 9 | 歴史資料状況<br>調査支援       | 4/22          | 歴史資料の被災状況等の調査に関して、歴史文化博物館職員を派遣することとした。   | 生涯学習課          |